

看護学生が新聞記事から捉えた心の健康と
NIE の学習視点からの学びの分析

—精神看護学講義における新聞記事の活用—

Analysis of Newspaper Articles on Mental Health Topics Read
by Nursery School Students, and NIE's View on Education

— Newspaper Utilization in Mental Health Nursing Class —

仙 田 志津代
Shizuyo SENDA

富 田 幸 江
Sachie TOMITA

看護学生が新聞記事から捉えた心の健康と NIE の学習視点からの学びの分析

—精神看護学講義における新聞記事の活用—

仙田 志津代 · 富田 幸江

キーワード：新聞記事 心の健康 NIE 看護学生

要旨

本研究の目的は、看護学生が新聞記事から捉えた心の健康について、新聞記事によるグループ学習からの学びについて、NIE の学習視点から分析し明らかにすることである。対象者は、看護系短期大学1年生42名（うち男性2名）であり、データは、学生が取り上げた新聞記事の分類・新聞記事の選択理由の記述・新聞記事から捉えた心の健康に関して気づいたこと・考えたこと・学生がグループワークのまとめとしてレポートしたもの、グループ学習終了後の振り返りレポートをデータとした。データの分析方法は、取りあげた新聞記事の見出しの内容を分類し、新聞記事を選択した理由と新聞記事から学べた理由について記述内容をカード化し、類似内容を分類しカテゴリ化した。振り返りレポートについては、第1段階分析、第2段階分析を行い、第1段階分析でカテゴリ化された内容について、NIE の6視点を基に学習内容を分析した。その結果、新聞記事から心の健康について捉えていることが明らかになった。また、終了後のレポートの内容分析から、NIE の視点を抽出することができ、NIE の目的である、自ら学び主体的な学習を実践することができた。

I はじめに

現在、精神看護学の背景にあるのは、教育現場の混乱、家族関係の変化など人々の暮らしを取り巻く環境であり、誰にとってもストレスの多いものになってきている。人々の価値観が多様化し、今までの日本社会がもっていた家族関係や人と人との関係のあり方が大きく変化してきたことは、人間の精神の健康に多くの影響を及ぼしている。また、インターネット上、大量の情報がやりとりされるようになり、速いスピードで変化する社会に適応していくことは容易なことではない。

このような時代にあって、自分を見失わず、自己実現をめざして生きていくことはなかなか困難なことである。若者の無力感、中高年者の自殺、うつ病の増加、子どものいじめ、少年犯罪の多発、児童虐待の増加等が、大きな社会問題になっている。

21世紀はメンタルヘルスの時代といわれる理由は、人が当たり前生きていくことが大変な時代になってきたことにあるのではないだろうか考える。

今回、青年期にある学生が社会に関心に向け、社会の中で起こっている事実について考える機会となり、精神看護学の対象を理解することができるのではないかと新聞を活用した授業を展開した。

新聞記事を用いた研究は、医療事故の記事を比較検討（鈴木 2004・藤原 2003）新聞ノートの導入（森田 2004）論評記事の見出し分析（小林 2003）等すでに行われているが、学生の心の健康に対する関心に焦点あてて、新聞記事を学生自ら選択し内容について分析するという研究は見当たらなかった。

学生がどのように新聞記事から心の健康問題を捉えられたのか、学生のレポートより分析した結果、心の健康を捉えられていることが明らかになった。さらに新聞を通して Newspaper in Education（以下NIE）の視点にそった学びが得られたので報告する。

Ⅱ 研究目的

看護学生が新聞記事から捉えた心の健康について、新聞記事によるグループ学習からの学びをNIEの学習視点から分析し明らかにする。

【精神看護学授業展開方法】

新聞記事（心の健康予防に関する内容を自由選択）によるグループ学習終了後、学習の振り返りとして、1枚（A4）のレポートを作成。

『グループ学習方法』

①ねらい：現代社会における心の健康を理解する。

②方法：

ア 学生3－4人のグループを編成し、新聞記事から現代社会の心の健康に関する内容を自由選択した記事内容について討議をする。

イ 討議した内容をレポートする。

Ⅲ 用語の定義

1 心の健康

心の健康とは、自分自身や、他者に対して心身ともに適応しながら生きていること。

2 NIE

NIEとは新聞からの学習を通して、積極的に情報を得ることから主体性のある人格の形成を目指す教育方法である。看護教育においては学生が主体的に医療・看護に関して情報を得るための学習方法として活用されている。

NIEの視点（URL NIE）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1) 社会への興味・関心が高まる2) 思考が深まる3) 多面的な見方・考え方が身につく4) 新聞に興味・関心をもつ5) 他人の意見を聞くこと6) 自分の考えを発表することで自分の考えをもつようになる |
|--|

IV 研究方法

1 対象：看護系短期大学1年生42名（うち男子学生2名）

研究期間：2004年9月～2005年2月

2 データの収集方法

(1) グループで討議するために学生が選択した新聞記事

講義中に心の健康に関する新聞記事の選択をするように説明する。

(2) 新聞記事を選択した理由の記述

(3) 新聞記事をもとにグループ学習した結果としての心の健康予防に関して気づいたこと、考えたこと、学生がグループワークのまとめとしてレポートしたもの

(4) グループ学習終了後の振り返りレポート

3 データの分析方法：

(1) 取りあげた新聞記事の見出しの内容を分類

(2) 新聞記事を取り上げた理由と記事から学べた内容について記述内容をカード化し、類似内容を分類しカテゴリ化

(3) グループ学習終了後の振り返りレポートの分析

1) 第1段階分析

レポート内容のカード化，カード化したものに対して，類似内容を分類し抽象度を高めるために，小カテゴリ化，さらに，大カテゴリ化を図った。

2) 第2段階分析

第1段階分析でカテゴリ化された内容について，NIEの6視点（表1）を基に分析し，NIEによる学習内容を分析した。

V 倫理的配慮

研究の主旨，データとなる学生の記述内容は，評価等に影響しない旨を口頭で説明し，承諾の得られた学生のみ研究対象とした。

VI 結果

学生が選択した新聞記事を分類した結果

1. 新聞記事の見出しの分類については，表1のとおりであった。

心の健康に関するもの5件，障害者に関する関心3件，災害に関するもの2件，親子関係に関する事件1件であり4つに分類された。

表1 新聞記事の見出しの分類

<p>1. 心の健康予防に関する記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の傷を対話で癒して ・健康管理にアニマルセラピー ・潜むストレス「心療内科」 ・「誰もが幸せ」それが願い ・自殺多発は月曜日
<p>2. 障害者に対する関心の記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉をなくした瞬間 ・「君もできる」と伝えたい ・記憶障害とは違う
<p>3. 災害に関する記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ってられぬ衝撃 ・震災関連死, 中越地震
<p>4. 親子関係に関する事件の記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親は頑張りすぎないで

2. 新聞記事を選択した理由については、表2のとおりであった。

4つの記事の分類に沿って分けた結果、心の健康に関するものは、子どもが親の心を支える記事に興味をもった、最近話題になり、動物が医療にどのように関わるのか知りたかった、現代の人々のストレスに対して興味をもった、授業で自殺について学び、タイトルにインパクトがあった。身近に起こっていることや、同年代の記事であったり、災害の被害者に対する心に影響することの心配や今後の不安、障害者が語る障害に対する興味や、子供や親の心を支える人たちへの興味であった。

障害者に関する記事では言語障害についてまだ教わっていないので興味をもった。授業で心を描いたことがあり、同じ題材に興味をもった、であった。

新聞に関する記事では、毎日、衝撃的な映像が心に残っているので、今、話題になっている新潟県中越地方の地震をとりあげた。

親子関係に関する事件の記事では、身近なところで起こった事件、加害者が同年代と関心であ

表2 新聞記事を選択した理由

<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもが親の心を支える記事に興味をもった 2. 最近話題になり、動物が医療にどのように関わるのか知りたかった 3. 現代の人々のストレスに対して興味をもった 4. 授業で自殺について学び、タイトルにインパクトがあった 5. 言語障害についてまだ教わっていないので興味をもった 6. 授業で心を描いたことがあり、同じ題材に興味をもった 7. 毎日、衝撃的な映像が心に残っているので 8. 今、話題になっている新潟県中越地方の地震 9. 身近なところで起こった事件 10. 加害者が同年代
--

った。

3. 新聞記事から捉えた心の健康に関して気づいたこと、考えたことについて主に記述内容を整理した結果、表3のとおりである。

1. 傷つき悩む心は関わりこそが力になる。2. 相手の気持ちになって考えることが大切。3. 話を聞いてもらうだけですっきりする。4. 親は、親の存在が子どもの心にどのように影響しているのか理解することが必要である。5. 自分では感じないことでも、ストレスになり身体に影響を及ぼしていることがある。6. 動物と触れ合うことで心の健康を保つことができる。7. 厳しい災害の状況が日常生活を脅かす。8. 障害があるからこそできることがある。9. 障害をもつということを、自分の問題としてとらえる厳しさであった。

4. NIEの視点にそって学生の学習内容について分析した結果は、表4の通りであった。

第1段階分析の大カテゴリでは、「新聞の情報から知識が得られる」32枚(24.8%)「他人の意見を聞くことができ、自分にはなかった意見が得られた」20枚(15.5%)「新聞記事に関して他学生の感想や意見を聞くことができて良かった」5枚(3.8%)「友達との意見の共有を大切にしたい」2枚(1.5%)「友達を通して自分の知らない知識を学べた」5枚(3.8%)「新聞を読む機会が増えた」19枚(14.7%)「情報を得ることができた」10枚(7.7%)「新聞の見出しはとても大切だということがわかった」1枚(0.7%)「新聞記事に興味をもって世の中のことを考えることができた。」13枚(10.0%)「新聞を違う考え方で捉えることができた。」3枚(2.3%)「印象に残った新聞記事」11枚(8.5%)「世の中の出来事に興味をもった。」3枚(2.3%)「心の病がこんなに多いとは思いませんでした。」1枚(0.7%)「自分の考えを言えるようになった」3枚(2.3%)「他人に思ったことを伝えるのは難しい」1枚(0.7%)というような結果が得られた。

第2段階分析のNIEの視点からは、「思考が深まる」33枚(23.7%)、「他人の意見を聞くこと」32枚(23.0%)「新聞に興味関心が高まる」30枚(21.5%)「多面的な見方考え方が身につく」16枚(11.5%)「社会への興味関心が高まる」15枚(10.7%)「自分の考えを発表でき自分の考えを持てた」14枚(10%)の結果が得られ、NIEの学習視点から学べていた。

表3 記事から捉えた心の健康予防に関して気づいたこと、考えたこと

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 傷つき悩む心は関わりこそが力になる2. 相手の気持ちになって考えることが大切3. 話を聞いてもらうだけですっきりする4. 親は、親の存在が子どもの心にどのように影響しているのか理解することが必要である5. 自分では感じないことでも、ストレスになり身体に影響を及ぼしていることがある6. 動物との触れ合うことで心の健康を保つことができる7. 厳しい災害の状況が日常生活を脅かす8. 障害があるからこそできることがある9. 障害をもつということを、自分の問題としてとらえる厳しさ |
|--|

表4 NIEの視点による学習内容の分析結果

N=139
()カード枚数

第1段階分析		第2段階分析
小カテゴリ	大カテゴリ	NIEの視点
・新聞を通して情報が得られる(14) ・新聞記事から知識が得られる(5) ・新聞には医療や看護に関する記事が多い事がわかった(7) ・テレビよりも新聞の方が情報が詳しく載っている(3) ・新聞はニュースだけではなく幅広い内容が掲載されている(2) ・3分間スピーチにより感性が磨かれる(2)	・新聞の情報から知識が得られる(32)	思考が深まる(33) 23.7%
・他人の意見を聞く事ができ、自分にはなかった意見が得られた(17) ・3分間スピーチは勉強になった(1) ・皆が選んだ記事をどのように感じたか聞く事が嬉しい(2)	・他人の意見を聞くことができ、自分にはなかった意見が得られた(20)	他人の意見を聞く(32) 23.0%
・新聞記事を通して皆の感想や意見を聞く事ができよかった(3) ・自分たちが選んだ記事を皆が真剣に読んでくれ嬉しかった(1) ・色々な記事が楽しかった(1)	・新聞記事に関して他学生の感想や意見を聞くことができて良かった(5)	
・皆が普段どんな事を思いながらニュースや新聞を見ているのかわかり良かった(1) ・友達との共有をこれからも大切にしていきたい(1)	・友達との意見の共有を大切にしたい(2)	
・友達から自分の知らない知識を学べた(5)	・自分の知らない知識を、友達を通してたくさん学べた(5)	新聞に興味関心が高まる(30) 21.5%
・新聞を読む機会が増えた(12) ・新聞を読む習慣ができた(2) ・普段、新聞を読む機会が少ない(4) ・新聞を読むことが新鮮であった(1)	・新聞を読む機会が増えた(19)	
・3分間スピーチを通して情報を得ることができた(8) ・3分間スピーチによって看護に関する記事を知ることができた(2)	・情報を得ることができた(10)	
・新聞の見出しはとても大切だということがわかった(1)	・新聞の見出しはとても大切とわかった(1)	
・前回の発表の内容につなげて今回の内容を知ることができた(1) ・新聞を読んで世の中のことを考えられた(6) ・興味をもったものにさらに追求(1) ・様々なことに目を向けていきたい(2) ・精神障害者に対する興味ももて勉強になった(3)	・新聞記事に興味をもって世の中のことを考えることができた(13)	多面的な見方・考え方が身に付く(16) 11.5%
・新聞は面白みもあり違う考え方で捉えることができた(3)	・新聞を違う考え方で捉える事ができた(3)	
・印象に残った新聞記事(親子の問題・地震・言語障害・自殺)(11)	・印象に残った新聞記事(11)	社会への興味・関心が高まる(15) 10.7%
・世の中で起こっていることに興味をもつことができた(3)	・世の中の出来事に興味を持った(3)	
・社会に心の病がこんなに多いとは思いませんでした。(1)	・心の病がこんなに多いと思わなかった(1)	
・3分間スピーチの発表を楽しみにしていた(1) ・3分間スピーチをやって良かった(7) ・これからも新しい発見ができる3分間スピーチを行ないたい(2) ・自分たちの選んだテーマを発表でき良かった(1) ・3分間スピーチで自分の考えを言えた(2)	・自分の考えを言えるようになった(13)	自分の考えを発表でき自分の考えを持てた(14) 10%
・他人に思ったことを伝えるのは難しい(1)	・他人に思ったことを伝えるのは難しい(1)	

V 考察

学生が選択した新聞記事は、結果からも総数が11件と少数であったが、内容については、心の健康、障害者、災害、親子関係に関係するものであり、いずれも人間の心や関わりに関連し、自分自身や、他者に対して心身ともに適応しながら生きていることに焦点があたっていた。現代社会における心の健康に関する内容であった。

看護学生が新聞記事から選択した心の健康について、精神看護学講義でのグループ学習からの学びを通して明らかになった。

記事の選択については、最近の話題をとりあげて現代社会の特徴である、現代人のストレス、災害による心の健康、親子関係に焦点をあてていた。電話相談では、心の健康予防に対する対策を取り上げている。また、障害者を取り上げ興味・関心をとおして前向きな生き方に学生自身が励まされている。

新聞記事を選択した理由については、心の健康に関するものは、子どもが親の心を支える記事や、最近話題になっている動物が人の心を癒すことができること、新潟県中越地方の地震をとりあげている等、授業からのつながりで現代の人々のストレス、身近に起こっていることや、同年代の記事であったり、災害の被害者に対する心に影響することの心配や今後の不安、障害者が語る障害に対する関心、電話相談等で子供や親の心を支える人たちへの共感であった。身近なところで起こった事件では、加害者が同年代という親子関係に関する事件の記事を選んでいる。根底には、興味・関心から選択したものと考えるが、それぞれ自分自身の問題として、講義との関連から選択していた。

選択した理由を明確にすることで、新聞記事の内容を具体的に読み取り、考える行動を支えることになるものとする。

グループ学習で話し合われた内容は、新聞記事から捉えた心の健康から、9つの内容が挙げられていたが、ほとんどが心の健康を保つということは、人と人とかかわり、お互いの気持ちを理解するための努力が必要であることが重要であることに気づいている。そして、根底には自分は他者になれないからこそ理解しあうことが大切であると言っている。障害者に対する関心も自分の問題として捉えていることが、人とかかわりあうこととつながるものとする。

次に、新聞記事によるグループ学習を通して学べた結果をNIEの視点から分析してみると、第1段階分析の大カテゴリでは、NIEの視点である社会への興味・関心が高まるでは、「新聞記事に興味をもって世の中のことを考えることができた。」13枚(10.0%)「世の中の出来事に興味をもった。」3枚(2.3%)「心の病がこんなに多いとは思いませんでした。」1枚(0.7%)であり、思考が深まるでは、「新聞の情報から知識が得られる」32枚(24.8%)「情報を得ることができた」10枚(7.7%)であり、多面的な見方・考え方が身につくでは、「新聞を違う考え方で捉えることができた。」3枚(2.3%)であり、新聞に興味・関心をもつでは、「新聞を読む機会が増えた」19

枚 (14.7%) 「新聞の見出しはとても大切だということがわかった」 1枚 (0.7%) 「印象に残った新聞記事」 11枚 (8.5%) であり、他人の意見を聞くことでは、「他人の意見を聞くことができ、自分にはなかった意見が得られた」 20枚 (15.5%) 「新聞記事に関して他学生の感想や意見を聞くことができ良かった」 5枚 (3.8%) 「友達との意見の共有を大切にしたい」 2枚 (1.5%) 「友達を通して自分の知らない知識を学べた」 5枚 (3.8%) であり、自分の考えを發表することで自分の考えをもつようになるでは、「自分の考えを言えるようになった」 3枚 (2.3%) 「他人に思ったことを伝えるのは難しい」 1枚 (0.7%) というように、NIE の視点に分類された。

以上からも、割合の比率の高いものから、1枚のカードからもすべてにNIEの効果ともいえる「学生の主体的な学習能力の向上」につながる内容が網羅されていることがわかった。

第2段階分析のNIEの視点からは、「思考が深まる」 33枚 (23.7%)、「他人の意見を聞くこと」 32枚 (23.0%) 「新聞に興味関心が高まる」 30枚 (21.5%) 「多面的な見方考え方が身につく」 16枚 (11.5%) 「社会への興味関心が高まる」 15枚 (10.7%) 「自分の考えを發表でき自分の考えを持てた」 14枚 (10%) の結果が得られ、新聞記事を用いた学習は、NIEの学習視点から学べ、「自ら学び考える力」の育成につながりNIEの効果と考えられる。

また、NIEの目的は、「児童・生徒の識字率を向上させ、主体性のある人格の形成を目指すこと」であり、世界各国に共通する目的である。日本の実施結果からも明らかに学習態度に変化が見られている (URL NIE) ということである。グループワーク終了後のレポートから、新聞記事からの学びについて、NIEの学習視点から分析し、NIEによる学習は、学生の学習態度をより主体的にしていることが明らかになった。

VI 結論

1. 新聞記事から心の健康について捉えることができた。
2. 新聞記事からの学びを通してNIEの学習視点が明確になった。

VII 今後の課題

新聞記事を授業に取り入れていく場合の今後の課題は、同じ記事の内容を他社の新聞はどう書いているのか読み比べてみることを通して、批判的思考を育成する上で有効な学習方法につながるのではないかと考える。

また、同じ記事をみんなで読みあい討論したり、個々の興味・関心から毎日1つの新聞記事を選んでノートを作成し、定期的に発表会を持つ等、工夫を凝らして、現代社会に生きている実感を持ってもらいたいと考えている。

VIII おわりに

今回の精神看護学Ⅰの講義で、学生が主体的に学習することを目的に、今の学生の発達段階において、学生が現代社会のどのようなことに興味・関心があるのか知り、授業への関心をもつことと自ら学ぶことをねらいとした。新聞を提示した理由は、NIEの視点もあったが、現代社会で何が起きているのか具体的に表現されているため、選びやすいのではないかと考えた。結果的に、心の健康に関する記事から内容を抽出し、学生の学びを分析した結果NIEの視点が明確になった事はとても貴重な学生の体験であった。

参考文献

- 1) 鈴木 浩美他 (2004):「新聞記事をグループで比較検討する授業展開の実際とその効果」, 看護教員と実習指導者 1 巻 3 号, 4-14. 日本看護学会論文集34回看護管理, 335-337.
- 2) 鈴木 浩美他 (2003):「複数の医療事故に関する新聞記事をグループで比較検討する授業の効果」, 日本看護学会論文集第34回看護教育, 53-55.
- 3) 瀧澤 直子 (2000):「生活経験から「精神の健康」を考える授業—新聞記事を題材にして—」, 東海大学短期大学紀要第34号, 17-21.
- 4) 森田 恵子他 (2004):「新聞ノートの導入が看護学生に与える影響—社会への関心とリテラシー能力に視点をあてて」, 日本養護学会論文集34回看護管理, 335-337.
- 5) 若崎 淳子他 (2002):「医療事故防止に対する課題学習の成果の検討—新聞記事を活用して—」, 日本看護学会論文集第33回看護教育, 73-74.

URL

NIE HP・<http://www.pressnet.or.jp/nie/aboutnie/effect.htm>